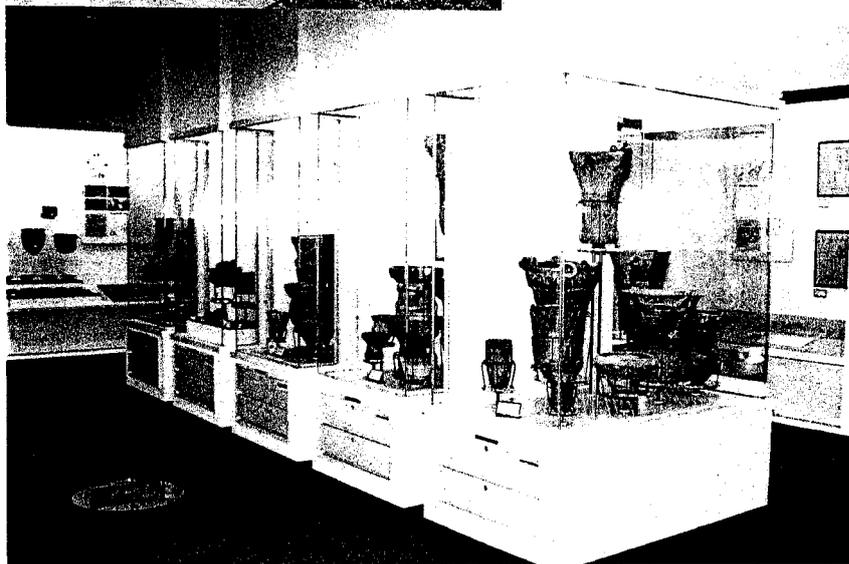
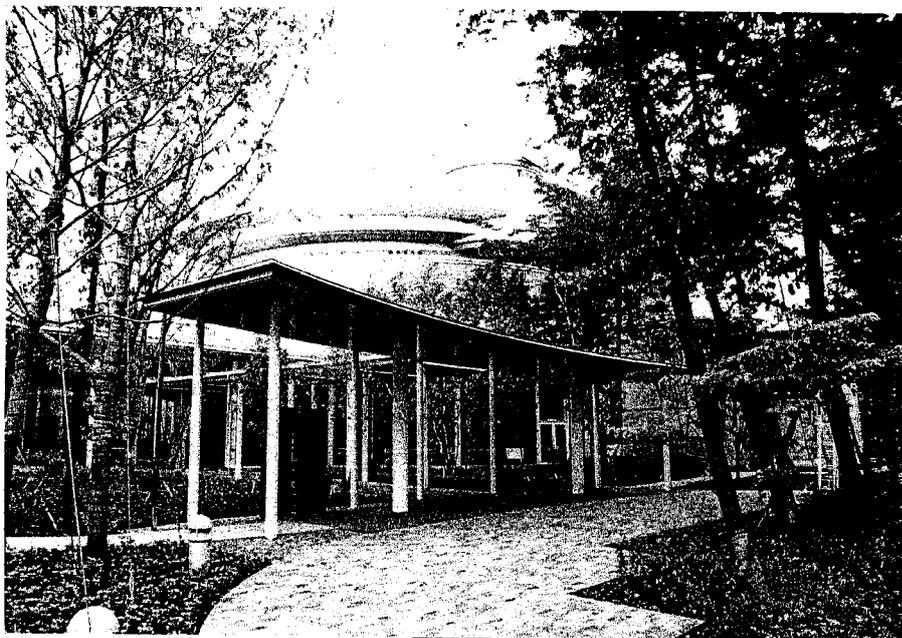


平成9年度

相模原市立博物館年報

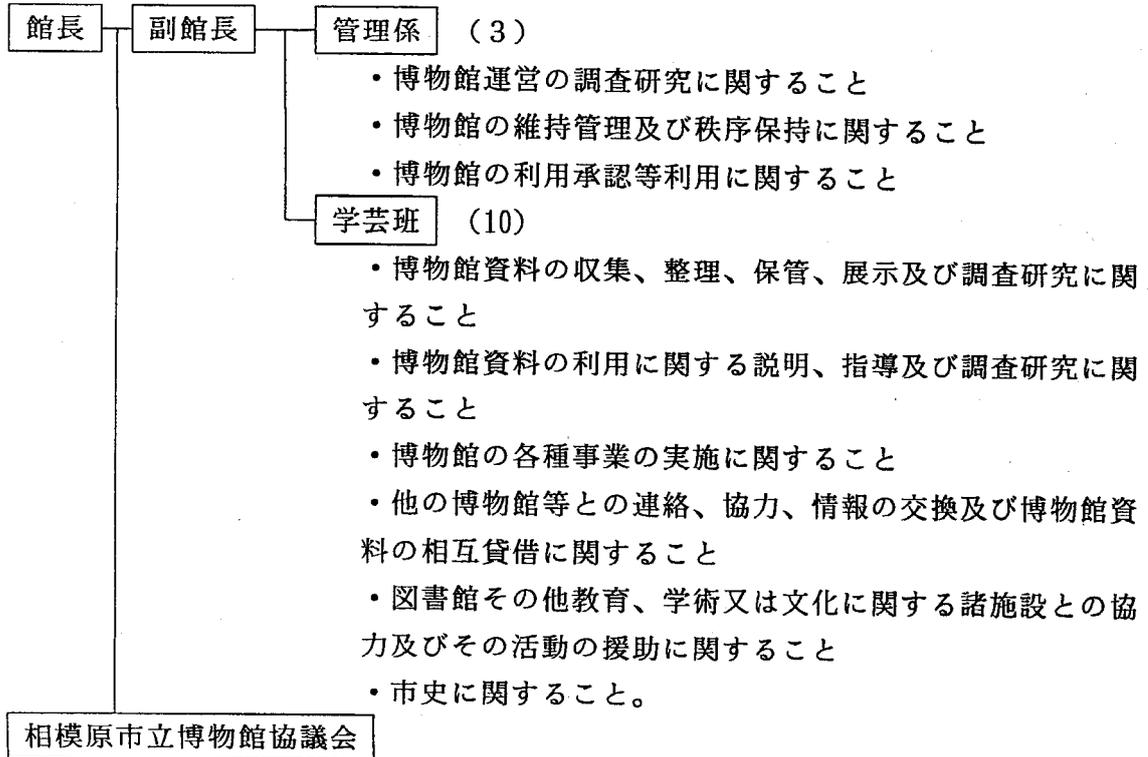


平成10年10月1日
相模原市立博物館

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員 (平成10年3月31日現在)

館長 (非常勤)	神崎 彰利		
副館長	安立 武晴		
管理係 係長	細谷 浩		
	主任	中溝 明良	
	主事	志田 久仁子	
学芸班 副主幹 (学芸員)	大貫 英明	(考古担当)	
指導主事	山口 一郎	(植物担当)	
主査 (学芸員)	杉本 芳秋	(天文担当)	
主査 (社会教育主事)	守屋 博文	(動物担当)	
主任 (学芸員)	浜田 弘明	(地理担当)	
主任 (学芸員)	加藤 隆志	(民俗担当)	
主事 (学芸員)	笠原 正則	(天文担当)	
主事	方波見 淳	(情報担当)	

主 事 若林 由美 (歴史担当)

主 事(学芸員) 金井 憲一 (地質担当)

*なお、受付案内業務は(財)相模原市都市整備公社に委託し9名が配属され(年度前半は欠員1)プラネタリウム投影業務の一部は(株)東急コミュニティーに委託し4名が配属されている。

2 博物館協議会

(1) 委員(平成9年11月20日現在)

氏 名	備 考
巢内 則男	市立弥栄小学校教諭
土屋 精一	市立大野南中学校教諭
池田 高明	県立大沢高等学校教諭
平賀 友子	市社会教育委員代表
関山 強	市文化協会代表
香村 絃一	会長・市文化財研究協議会代表
伊藤久美子	市立小中学校PTA連絡協議会代表
長田かな子	地域史研究家
高橋 秀男	副会長・県立生命の星地球博物館嘱託
水谷 仁	文部省宇宙科学研究所教授

(2) 会議

開 催 日	お も な 内 容
第1回 平成9年5月15日	平成8年度事業報告について 平成9年度予算及び事業内容について 平成9年度協議会の協議内容について
第2回 平成9年8月7日	博物館協議会の提言について 特別展「絵図から地形図へ」について
9年11月20日付 委員改選 安藤委員、的川委員が任期終了、 関山委員、水谷委員を新規委嘱。	
第3回 平成9年12月5日	会長及び副会長の選出と博物館の役割について 博物館協議会の概要とこれまでの活動報告 今後の協議内容について
第4回 平成10年2月19日	「市民と博物館をつなぐための提言」に対する博物館としての考え方について 博物館協議会の今後の審議内容について

3 施 設

(1) 施設概要

- ・敷地面積 9,999.48㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5,081.03㎡
- ・延床面積 9,510.24㎡

(2) 施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 平成9年5月13日、10月21日（臨時休館日に実施）

4 予算

平成9年度予算

(単位：千円)

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比較	財源内訳
40	博物館費	924,717	999,139	- 74,422	特定財源 22,434 (特定財源内訳) その他 22,434 一般財源 902,283

節		金額	説明	
区分			9年度	8年度
1	報酬	4,100	博物館の運営及び維持管理に要する経費	
8	報償費	8,328	経費内訳	
9	旅費	1,193	1	博物館協議会経費 530 536
11	需要費	102,072	2	施設運営費 138,397 165,028
12	役務費	1,325	(1)	資料収集保存経費 6,767 6,800
13	委託料	199,463	(2)	資料調査研究経費 6,160 6,474
14	使用料及び賃借料	40,759	(3)	展示・教育普及事業経費 27,049 35,830
15	工事請負費	770	(4)	プラネタリウム事業経費 93,579 111,054
17	公有財産購入費	500,000	(5)	その他運営費 4,842 4,870
18	備品購入費	1,592	3	施設維持管理費 214,983 232,251
19	負担金、補助及び 交付金	88	4	施設維持補修費 5,000 3,000
23	償還金、利子及び 割引料	65,000	5	博物館用地購入事業 (債務負担行為) 565,000 597,500
27	公課費	27	6	一般事務費 807 824
			合計	924,717 999,139

II 教育普及

1 入館者数

(1) 平成9年4月1日～9年3月31日

総計 105,793人

(2) 各月ごとの詳細は、次のとおり。

平成10年3月31日現在

相模原市立博物館入館者統計

月	入館者総数	プラネ総数	一般投影計	全天周映画	学習投影計	特別展総数	星空観望会	講座講演会	プラネ観覧料	1日平均
9年4月	7,568	3,443	1,826	1,617	0	957	356	238	1,196,760	303
5月	9,815	3,837	1,794	2,043	0	4,522	182	94	1,406,840	378
6月	10,172	3,223	1,213	1,107	903	3,940	42	131	846,640	407
7月	10,238	4,780	2,195	1,511	1,074	324	11	406	1,326,760	379
8月	14,101	7,158	4,262	2,896	0	1,960	170	526	2,438,980	522
9月	8,754	3,100	1,440	1,221	439	3,433	30	353	971,400	365
10月	8,748	2,516	1,041	1,187	288	4,206	101	219	761,520	324
11月	13,743	6,419	1,442	1,692	3,285	5,522	45	231	1,096,220	315
12月	4,736	1,477	497	518	464	750	72	125	352,140	215
10年1月	4,690	1,988	638	620	730	0	23	79	458,620	204
2月	6,218	2,669	902	685	1,082	1,376	45	467	588,780	270
3月	7,010	2,745	1,404	960	381	1,398	27	298	789,220	270
9年度計	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	351
総計	309,787	139,640	62,299	49,314	28,027	87,269	2,959	7,189	41,520,520	
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,188	18,187,120	419
7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	733

2 特別展・企画展

(1) 企画展・段丘崖の植物－斜面緑地は今－

ア 内容 市内各地の段丘崖で見られる植物の姿を写真と標本で紹介。

イ 期間 平成9年4月25日～5月25日

ウ 観覧料 無料

エ 入場者 5,479人

オ 出版物 パンフレット（頒布価格200円）、ポスター

カ 講演会 5月11日、テーマ「相模原の草花」、参加者83人

(2) 特別展「絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展」

ア 内容 元禄日本図や伊能図から現代のコンピュータ・マップまでを紹介。

イ 期間 平成9年7月26日～8月31日

ウ 観覧料 大人300円・小中学生100円

エ 入場者 2,284人（うち有料大人1,391人・小人281人）

オ 出版物 図録（頒布価格2,550円）、ポスター、チラシ

カ 講演会 8月10日、テーマ「日本の地図づくり」、参加者88人

(3) 特別展「太陽系－母なる太陽とその家族を巡る」

ア 内容 隕石や天体細密画の展示や、3Dシミュレーターシステムの体験。

イ 期間 平成9年11月2日～12月7日

ウ 観覧料 大人300円・小中学生100円

エ 入場者 6,227人（うち有料大人1,377人・小人527人）

オ 出版物 図録（頒布価格700円）、ポスター、チラシ

カ 講演会 11月16日、テーマ「太陽系の魅力と天体細密画」、参加者51人

(4) 企画展「近世相模原の古文書にみる村の世界－遺されたみみず文字は語る－」

ア 内容 江戸時代に成立した市域17か村で作成された、古文書を中心に展示。

イ 期間 平成10年2月15日～3月15日

ウ 観覧料 無料

エ 入場者 2,774人

オ 出版物 パンフレット（頒布価格200円）、ポスター、チラシ

カ 講演会 2月22日・3月8日、テーマ「公文書の世界」「私文書の世界」、参加者326人

3 講座

(1) 自然観察会「新緑の林を観察しよう」

ア 内容 道保川公園を中心に、初夏の植物や動物、湧き水を観察

イ 実施日 平成9年5月24日

ウ 参加人数 11人

(2) 古文書解読講座「ひとつの文書が語るもの」

- ア 内容 古文書を読むことから一歩進んで、解読することの意味を学ぶ。
- イ 実施日 平成9年6月14日、21日、28日、7月5日(全4回)
- ウ 参加人数 延べ117人

(3) 考古学講座

- ア 内容 8年度から継続3か年の学習、その2年目。
- イ 実施日 平成9年6月29日から12月14日までの主に日曜日(全12回)
- ウ 参加人数 延べ304人

(4) 天体望遠鏡操作講習会

- ア 内容 天体望遠鏡の操作に関する基礎知識を学ぶ。
- イ 実施日 平成9年7月5日から10月18日までの土曜日(全10回)
- ウ 参加人数 のべ173人

(5) 植物講座「親と子の植物教室」

- ア 内容 博物館周辺の自然観察と木の実、葉の遊具や押し葉標本を作成。
- イ 実施日 平成9年7月19日、26日、8月2日、9日(全4回)
- ウ 参加人数 延べ54人

(6) 歴史教養講座「近世相模原に生きた人々」

- ア 内容 古文書を用いて、相模原に生きた江戸時代の農民の姿を紹介する。
- イ 実施日 平成9年8月3日から11月11日までの日曜日(全6回)
- ウ 参加人数 延べ565人

(7) 天文講座「夏休み親子天文教室」

- ア 内容 親子で参加し、ミニプラネタリウム(紙製キット)を作成。
- イ 実施日 8月7日
- ウ 参加人数 親子34組83人

(8) 地理講座「地域の変遷をしらべるⅡ」

- ア 内容 実習やフィールドワークを通し、地図づくりの手法を習得する。
- イ 実施日 平成9年8月16日、23日、30日、9月6日(全4回)
- ウ 参加人数 延べ102人

(9) 民俗「酒まんじゅう作り」

- ア 内容 地域の伝統食である、酒まんじゅうの作り方について学ぶ
- イ 実施日 平成9年8月21日、23日(全2回)
- ウ 参加人数 延べ77人

(10) 自然観察会「水辺の生き物を観察しよう」

- ア 内容 相模川の水生昆虫や植物などを観察し、自然の仕組みを学ぶ。
- イ 実施日 平成9年8月10日
- ウ 参加人数 40人

- (11) 民俗講座「相模原の食事－地域文化をさぐる③－」
ア 内容 聞き書き資料で、地域の食事の特徴を民俗学的観点から考える。
イ 実施日 平成9年9月6日、13日、20日、28日（全4回）
ウ 参加人数 延べ60人
- (12) 地質学教室「親と子の小石観察会」
ア 内容 小石の観察、採集、整理を通じ、形や色から小石の来歴を考える。
イ 実施日 9年10月11日、25日
ウ 参加人数 延べ58人
- (13) 自然観察会「秋の雑木林を観察しよう」
ア 内容 植物や昆虫、野鳥などを観察し、自然の仕組みを学ぶ。
イ 実施日 9年11月8日
ウ 参加人数 21人
- (14) 民俗講座「県央の信仰と民俗」
ア 内容 富士信仰などの考察と、映画「学校の怪談」作者による特別講演。
イ 実施日 9年11月22日、29日
ウ 参加人数 延べ100人
- (15) 動物講座「土の中の生き物を調べよう」
ア 内容 落ち葉や土壌中に生息している生き物の種類や存在を知る。
イ 実施日 9年11月9日、16日、23日、30日、12月7日（全5回）
ウ 参加人数 延べ57人
- (16) 自然観察会「冬の相模川を観察しよう」
ア 内容 河原を歩きながら、春を迎える河原の環境や自然の仕組みを学ぶ。
イ 実施日 10年2月14日
ウ 参加人数 10人
- (17) 天文講座「上空の地球環境」
ア 内容 地球温暖化などの現象が大气へ及ぼす影響などについて考える。
イ 実施日 10年2月14日、21日、28日、3月7日（全4回）
ウ 参加人数 延べ324人
- (18) 地質講座「台地の火山灰を読む」
ア 内容 観察会や分析を通じて台地に刻まれた火山灰の姿を学ぶ。
イ 実施日 10年2月21日、22日、3月1日、8日（全4回）
ウ 参加人数 延べ65人
- (19) 考古学講座「発掘調査の成果を発表しよう」
ア 内容 3か年継続学習の3年目。市民に成果を発表するための学習。
イ 実施日 10年2月8日、22日、3月8日、22日以降来年度へ（年度内全4回）
ウ 参加人数 延べ75人

(20) 金沢文庫共催講座

- ア 内容 中世相模原の武士と村落を演題に、県立金沢文庫との共催で実施
イ 実施日 10年3月22日
ウ 参加人数 延べ115人

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 9年度観覧者合計43,355人

* 投影内容別は以下記。月別の観覧者については4ページ参照。

(2) 一般投影

ア 内容 解説員による季節の星空説明と企画番組で構成(所要約50分)

番組名	投影期間
金星	平成9年3月23日～6月8日
重力の不思議	平成8年6月15日～9月7日
空の模様	平成8年9月14日～12月7日
天空の大地図	平成9年12月14日～10年3月8日
宇宙誕生	平成9年3月15日～6月7日

イ 投影時間 平日…午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午後1時50分と3時50分

ウ 観覧者 18,654人

(3) 全天周映画

ア 内容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約40分)

番組名	上映期間
南極大陸	平成8年10月25日～9年4月20日
ザイオン・キャニオン	平成9年4月23日～10月19日
リング・オブ・ファイヤー	平成9年10月25日～10年4月19日

イ 上映時間 平日…午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午前10時50分と午後2時40分

ウ 観覧者 16,055人

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小学校6年生向け「星の動きと月の影」

小学校4年生向け「太陽系のなかまたち」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 8,646人

(5) プラネタリウム夜間投影

小中学校の長期休み期間の毎週金曜日に限り、午後6時からプラネタリウムを投影した。投影回数9回、観覧者計147人

(6) 出版物

プラネタリウム案内A5パンフレット、B2ポスター…各投影番組別に作成
全天周映画案内A4パンフレット、B2ポスター…各上映番組別に作成

5 星空観望会

晴天時の毎週金曜日の夜間、天体観測室と観測テラスを利用し、観望会を実施した。
9年度は年間23回実施し、延べ760人が参加した。

6 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計1,217本 (月平均約101本)

7 その他の事業

(1) ヘール・ボップ彗星観察会

春にかけてマスコミ等でも話題になった、彗星の観察会を実施した。
平成9年4月29日、5月1日 延べ342人参加

(2) 機織り実演会

市内に伝わる機織りの技術を紹介。希望者は実際に機織りの体験をした。併せて特展室内に帯や着物、まゆ製品などの機織り作品も展示した。
平成9年7月13日、20日 延べ120人参加

(3) 夏休み子ども学習相談

小・中学生を対象に、夏休みの最初と終りに2日間ずつ、宿題や自由研究の相談に応じた。

(4) BCS賞受賞記念・パネル展

第38回建築業協会賞の受賞を記念し、特展室内に建物の模型や写真等を展示した。
平成9年12月17日～10年1月11日

(5) 収蔵資料の「ミニ展示」

特別展・企画展の開催期間以外時に、特別展示室入口前で資料の展示を行った。
田名塩田原遺跡、文化財ポスター、講中の共有道具、春を告げる虫-蝶-

8 学校利用検討会

小中学校等による効果的かつ積極的な博物館利用を図るために設置していたが、学校との連携に一定の成果を見せたため、今年度で終了した。

(1) 委員 (平成9年度)

氏名	備考
井上 満	委員長・大野台小学校教諭
杉崎 久子	谷口台小学校教諭

山田 仁子	清新小学校教諭
広瀬 明美	東林小学校教諭
小国 清	副委員長・由野台中学校教諭
田中 正博	相模台中学校教諭
斎藤 敦	大沢中学校教諭
吉岡 輝明	新町中学校教諭

(2) 会議

開催日	おもな内容
第一回 平成9年6月12日	9年度委員会の計画 9年度学校利用の予定について
第二回 平成9年11月18日	小4用、高学年夏期用プラネタリウム番組について 「学校利用の手引き」利用状況について
第三回 平成10年3月4日	学校利用検討会のまとめ 博物館と学校との関わりについての今後の課題

9 広報・出版

(1) 刊行物

- ア 特別展・企画展の図録・パンフレット …各4種（前掲）
- イ プラネタリウム案内パンフレット・ポスター…各4種（前掲）
- ウ 全天周映画案内パンフレット・ポスター …各2種（前掲）
- エ 調査報告書…3種
研究報告第7集、古山の生業と伝承、資料集「順席」
- オ 博物館NEWS（A4カラー・9年度からページ増。「テーマ特集」を開始）

(2) 刊行物一覧

有償刊行物については、博物館と市役所・行政資料コーナーで販売。

書名	内容	発行月日	部数	価格
段丘崖の植物	企画展のパンフレット	9. 4	700	200
絵図から地形図へ	特別展の図録	9. 7	700	2550
太陽系	特別展の図録	9. 11	700	700
近世相模原の古文書	企画展のパンフレット	10. 2	700	200
研究報告第7集	平成9年度・学芸職員の 調査研究のまとめ	10. 3	700	
古山の生業と伝承	民俗調査の報告書	10. 3	700	
資料集「順席」	歴史調査の報告書	10. 3	700	
博物館NEWS	博物館事業や調査の紹介	年4回	700	

(2) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を行った。またJR淵野辺・矢部・古淵各駅については、市の専用掲示板を使用した。

イ 他機関等発行物への告知記事掲載

市各機関で発行する広報媒体へ特別展等の情報を掲載した。

主な内容

広報さがみはら…毎月1日号に星空観望会申込方法を掲載

社会教育ニュース…毎回1ページを「博物館だより」とした

ウ 記事提供

相模原記者クラブ、その他新聞・雑誌社等へ告知記事の提供をした。

主な掲載内容

朝日新聞…夕刊・マリオン 7月31日

産経新聞…首都圏おでかけMAP 8月22日

神奈川新聞…「台地の足音を聞いて」 隔週土曜日に連載

雑誌類…神奈川遊び場ガイド、東京ウォーカー、るるぶ神奈川等

エ 放送番組ロケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容

TVK…さがみはらるっくあらうんど5月1日号、12月15日号

FMさがみ…SOCKウォーカー・館内から生中継 5月3日

平塚FM…みんなのスタジオ・電話インタビュー 8月6日

10 博物館実習

学芸員資格取得のための実習として、8月に19名を受入れた。分野は考古・歴史・民俗・地理・動物・植物・地質・天文、期間は2週間とした。

11 博物館職員の講師派遣

市内各公民館・小中学校で実施される学級・講座等について、各施設の依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。

III 資料管理

1 10年3月31日現在の資料点数は、以下のとおり

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	レプリカ	考古資料収蔵庫	1	点	3,763
	レプリカ	自然・歴史展示室	2	点	
	土器・石器片等	考古資料収蔵庫	121	点	
	橋本遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	846	箱	
	橋本遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	190	点	
	古淵B遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	40	箱	
	中村遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	98	箱	
	田名塩田遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	425	箱	
	当麻下溝遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	1,865	箱	
	矢掛久保遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	95	箱	
矢掛久保遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	80	点		
歴史	教科書等	古文書収蔵庫	3,157	点	29,737
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	4,747	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	93	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫	10,885	点	16,367
	軍事資料	大型資料収蔵庫	438	点	
地質	地図・写真資料	図面保管庫	5,044	点	1,093
	化石資料	地質資料収蔵庫等	137	点	
	岩石資料	地質資料収蔵庫等	122	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	181	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	257	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	73	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	15,476
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	15,324	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	99	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	4	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	8,493	点	8,493
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,032	点	2,032
二次資料	図書・報告書等(詳細は別途)	市民研究室等	19,512	点	22,757
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,245	点	
合計			99,718	点	

館内収蔵美術品(社会教育課)

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	377	点	438
	彫刻	美術品収蔵庫	6	点	
	書	美術品収蔵庫	55	点	

二次資料(図書・報告書等)点数リスト

市民研究室	点数	単位
考古	4,339	点
歴史	4,562	点
民俗	1,411	点
地理	1,339	点
地質	870	点
動物	725	点
植物	261	点
芸術	565	点
博物館	2,387	点
計	16,459	点

天文研究室	点数	単位
天文	338	点
計	338	点

情報コーナー	点数	単位
図書	3,595	点
ビデオテープ	115	点
計	3,710	点

合計 20,507 点

2 資料収集・保存

分野	おもな内容
考古資料	・発掘調査データの収集、収蔵資料（鉄器）の保存処理。
歴史資料	・新規収集資料を含む、資料の整理。
民俗資料	・市域の農具等、資料の収集とカード化の実施。
地理資料	・市域の生活資料及び、造兵廠関連資料の収集・整理。 ・収集地形図・主題図の資料カード整備と目録化。
動物資料	・収集資料及び収蔵予定資料（寄贈予定資料）の整理
植物資料	・採集植物標本作成約 100点と寄贈資料約 2千点の整理。
地質資料	・岩石・化石資料の収集。寄贈資料（火山灰）の整理。
天文資料	・星雲・星団・彗星・太陽画像と時刻関連資料の収集・整理。 ・パソコン通信による、国立天文台等からの画像収集。

3 9年度購入資料

資料名	内 容
地理資料	関東地方迅速測図（関東西部 150枚組み）
学術雑誌	考古学ジャーナル、日本歴史、民具マンスリー、人文地理、月刊むし地質学雑誌、天文月報等の専門雑誌25誌（主に市民研究室で開架）
新刊書籍及びビデオソフト	市民研究室等・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書を中心とした書籍80冊、ビデオソフト9本を購入した。

4 受入れ資料の燻蒸

7月16日～18日と2月3日～6日に、洗浄乾燥室にて実施した。

IV 調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 大貫 英明	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館開館以後発掘された資料の調査。 ・麻溝地区新設小学校用地発掘調査。
歴史資料の調査 若林 由美	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館から移管された市史資料約2万5千点の内、約1万5千点についての確認・把握作業。
民俗資料の調査 加藤 隆志	<ul style="list-style-type: none"> ・下溝・古山地区の生活聞き書き調査の継続。 ・講座に併せて、糸取り工程の映像記録化の実施。
地理資料の調査 浜田 弘明	<ul style="list-style-type: none"> ・絵図・主題図類の所在・時代的变化についての調査。 ・大島地域の井戸及び湧水の分布についての調査。
動物資料の調査 守屋 博文	<ul style="list-style-type: none"> ・相模川水系水生昆虫調査…生息状況の把握と二次資料化。 ・昆虫生息調査…大島地域の昆虫類の生息状況を明らかにした。
植物資料の調査 山口 一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・大島地域の帰化植物と市内の植物についての調査。
地質資料の調査 金井 憲一	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の露頭調査と写真撮影、岩石調査の実施。
天文資料の調査 杉本 芳秋 笠原 正則	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘラクレス座A K星、ペルセウス座ベータ星の光電測光観測。 ・プラネタリウムや観望会の学校・社会教育施設利用に関する調査。
情報資料の調査 方波見 淳	<ul style="list-style-type: none"> ・田名向原遺跡の映像資料化の実施。

平成9年度相模原市立博物館年報

平成10年10月1日

相模原市立博物館